



個人のグリーティングの管理

- [個人のグリーティングについて, 1 ページ](#)
- [個人のグリーティングの変更, 3 ページ](#)
- [ユーザがビデオグリーティングを再生するには, 4 ページ](#)

個人のグリーティングについて

Cisco Unity Connection では、個人のグリーティングを最大 6 つ録音できます。必要な数のグリーティングを有効にして、それぞれの有効期間を指定できます。

多言語システムの場合、複数の言語（デフォルトの言語とそれ以外のシステムで利用可能な言語）で個人のグリーティングを再生するオプションを選択できます。デフォルト以外の言語のグリーティングを管理する場合は、電話のキーパッドを使用します。ボイス コマンドは使用できません。

次に、6 つの個人のグリーティングとそのしくみについて説明します。Connection では、使用可能にしたグリーティングが適切な状況で再生されます。ただし、一部のグリーティングは他のグリーティングより優先されます。

オプショングリーティング

休暇中などの特別な状況を知らせたいときに、特定の期間内だけ再生する場合は、オプショングリーティングを使用可能にします（たとえば、「<date>までオフィスにいません」）。有効になっている場合、オプショングリーティングは他のどのグリーティングよりも優先されます。

電話を呼び出すことなくグリーティングに発信者を転送するかどうか、発信者がグリーティングをスキップできるかどうか、およびオプショングリーティングが使用可能なときに発信者がメッセージを残せるかどうかは、Connection の管理者が指定します。Messaging Assistant Web ツールの[オプショングリーティング]ページには、管理者が使用可能にしている発信者オプションが示されます（ある場合）。外部の発信者や他の Connection ユーザが内線をダイヤルして直接電話をかけた場合、発信者オプションは適用されません。

**ヒント**

他の **Connection** ユーザが電話でメッセージを送信した場合、そのユーザにはオプショングリーティングが再生されません。オプショングリーティングを使用可能にするだけでなく、録音名を変更して、不在であることを示す情報を追加することを検討してください。録音名は、他のユーザがメッセージの宛先としてその名前を指定したとき、またディレクトリでその名前を検索したときに再生されます。

オプショングリーティングをオンにすると、**Cisco PCA** のホームページにリマインダが表示されます。電話でサインインした後、オプショングリーティングが有効になっていることを知らせるように **Connection** を設定することもできます。

通話中グリーティング

通話中であることを示す場合は、通話中グリーティングを使用可能にします（たとえば、「現在別の電話に出ています。メッセージを残してください」）。通話中グリーティングが有効になっていると、通話中の場合に限り、このグリーティングが標準グリーティング、時間外グリーティング、内線グリーティングより優先されます。

なお、**Connection** の通話中グリーティングが動作するのに必要なサポートは、すべての電話システムで提供されているわけではありません。詳細については、**Connection** の管理者にお問い合わせください。

内線グリーティング

同僚に知らせる必要のある情報を提供する場合は、内線グリーティングを使用可能にします（たとえば、「本日の正午まで会議室 B にいます」）。有効になっている場合、内線グリーティングは標準グリーティングおよび時間外グリーティングより優先されます。また、内線グリーティングは、電話に応答しない場合に社内の発信者に対してだけ再生されます。

なお、**Connection** の内線グリーティングが動作するのに必要なサポートは、すべての電話システムで提供されているわけではありません。詳細については、**Connection** の管理者にお問い合わせください。

時間外グリーティング

Connection の管理者が指定した会社の営業時間外に、特別なグリーティングを再生する場合は、時間外グリーティングを使用可能にします（たとえば、「申し訳ありませんが、電話に出ることができません。当社の営業時間は <times> です」）。時間外グリーティングが有効になっていると、営業時間外の場合に限り、このグリーティングが標準グリーティングより優先されます。

標準グリーティング

標準グリーティングは、**Connection** の管理者が指定した会社の営業時間内、または他のグリーティングがすべて使用不能な状況において再生されます。設計上、標準グリーティングは無効にすることができません。

祝日グリーティング

祝日に特別なグリーティングを再生する場合は、祝日グリーティングを使用可能にします（たとえば、「本日は祝日ですので、電話に出ることができません。 <date> ~ <date> までオフィスにいません」）。祝日グリーティングが有効になっていると、営業時間外の場合に限り、このグリーティングが標準グリーティングより優先されます。

個人のグリーティングの変更

個人のグリーティングをオンにすると、使用可能になるまでの待機時間を指定できます。Cisco Unity Connection は、指定された日時になるまで、グリーティングを適切な状況で再生します。その後、グリーティングは自動的にオフになります。たとえば、オプショングリーティングを設定して、休暇から戻ってきた日に再生を止めることができます。

グリーティングの再生を無期限に設定することもできます。これは、通話中グリーティングや時間外グリーティングをオンにするときに便利です。

グリーティングはいつでもオフにすることができます。グリーティングがオフのときは、録音が消去されていなくても Connection はそのグリーティングを再生しません。



(注) 多言語システムの場合、デフォルト言語のグリーティングに限り Messaging Assistant Web ツールでグリーティングを管理できます。他の言語のグリーティングを管理するには、電話を使用します。入力方法を電話のキーパッド ([キーパッドのみ] オプション) に設定する必要があります。

手順

- ステップ 1** Messaging Assistant で、[グリーティング] メニューの [グリーティング表示] を選択します。
- ステップ 2** [グリーティング] ページで、変更するグリーティングを選択します。
- ステップ 3** グリーティングをオフにするには、[<名前> グリーティング] ページの [無効にする] を選択してから、ステップ 5 に進みます。
または
グリーティングをオンにするには、適切なオプションを選択します。

オプション	説明
[終了日時設定なしで有効にする]	グリーティングが無期限に再生されます。
[有効期限]	指定した日時までグリーティングが再生されます。指定した日時になると、グリーティングは自動的に無効になります。

- ステップ 4** [再生されるメッセージ] セクションで、適切なオプションを選択します。

オプション	説明
[パーソナル レコーディング]	ユーザ独自のグリーティングを録音する場合に選択します。 Media Master で、[録音] をクリックしてグリーティングを録音します。録音を終了するときは、[停止] をクリックします。

オプション	説明
[システム デフォルト グリーティング]	あらかじめ録音されているシステム グリーティングを使用する場合に選択します。
[なし]	発信者にメッセージを残すように合図する発信音が再生されません。

ステップ 5 [保存] を選択します。

ユーザがビデオ グリーティングを再生するには

各ユーザのビデオ グリーティングを再生できるようにするには、[表示されるメッセージ] セクションの [パーソナル レコーディング] オプションを有効にします。

ビデオ グリーティングの詳細については、『User Moves, Adds, and Changes Guide of Cisco Unity Connection』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/10x/user_mac/guide/10xcumacx.html) の「Setting Up Features and Functionality That Are Controlled by User Account Settings in Cisco Unity Connection」の章を参照してください。

ビデオ グリーティングが有効な場合に表示されるメッセージを指定するには、次のいずれかのソースから選択します。

[パーソナル グリーティング]	録音したビデオ グリーティングを Unity Connection が再生します。 (注) ビデオ グリーティングは、録音するだけでは有効になりません。
[「発信音の後にメッセージを録音してください」のプロンプトを再生]	発信音の後にビデオ グリーティングを録音するように Cisco Unity Connection が発信者に求めます。このチェックボックスは、[コールアクション] が [グリーティング後] フィールドで [メッセージの録音を開始する] に設定されている場合のみ有効になります。このオプションが [システム デフォルト グリーティング] に設定されている場合、チェックボックスは無効でオンのままになります。

ビデオ グリーティングはいつでも無効にすることができます。ビデオ グリーティングが無効の場合は、録音が消去されていなくても Connection はそのグリーティングを再生しません。

ビデオ グリーティングを有効にするには

手順

-
- ステップ 1** MessagingAssistant で、[グリーティング] メニューの [グリーティング表示] をクリックします。
- ステップ 2** [グリーティング] ページで、ビデオ設定を有効化するグリーティングを選択します。
- ステップ 3** ビデオ グリーティングを有効化するには、適切なオプションを選択します。
- [終了日時設定なしで有効にする] : グリーティングが無期限に再生されます。
 - [有効期限] : 指定した日時までグリーティングが再生されます。指定した日時になると、グリーティングは自動的に無効になります。
- ステップ 4** [表示されるメッセージ] セクションで、[パーソナル レコーディング] を選択して、ビデオ グリーティングを再生します。
- ステップ 5** [保存] をクリックします。
-

ビデオ グリーティングを無効にするには

手順

-
- ステップ 1** MessagingAssistant で、[グリーティング] メニューの [グリーティング表示] をクリックします。
- ステップ 2** [グリーティング] ページで、ビデオ設定を有効化するグリーティングを選択します。
- ステップ 3** ビデオ グリーティングを無効化するには、[<名前> グリーティング] ページの [無効にする] を選択します。
- ステップ 4** [保存] をクリックします。
-

ビデオ グリーティングを無効にするには